

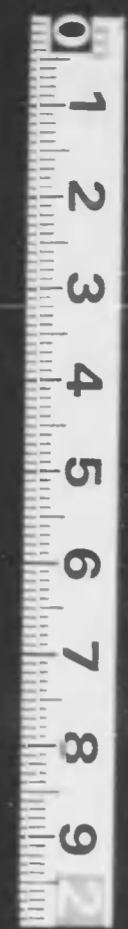
寫真週報

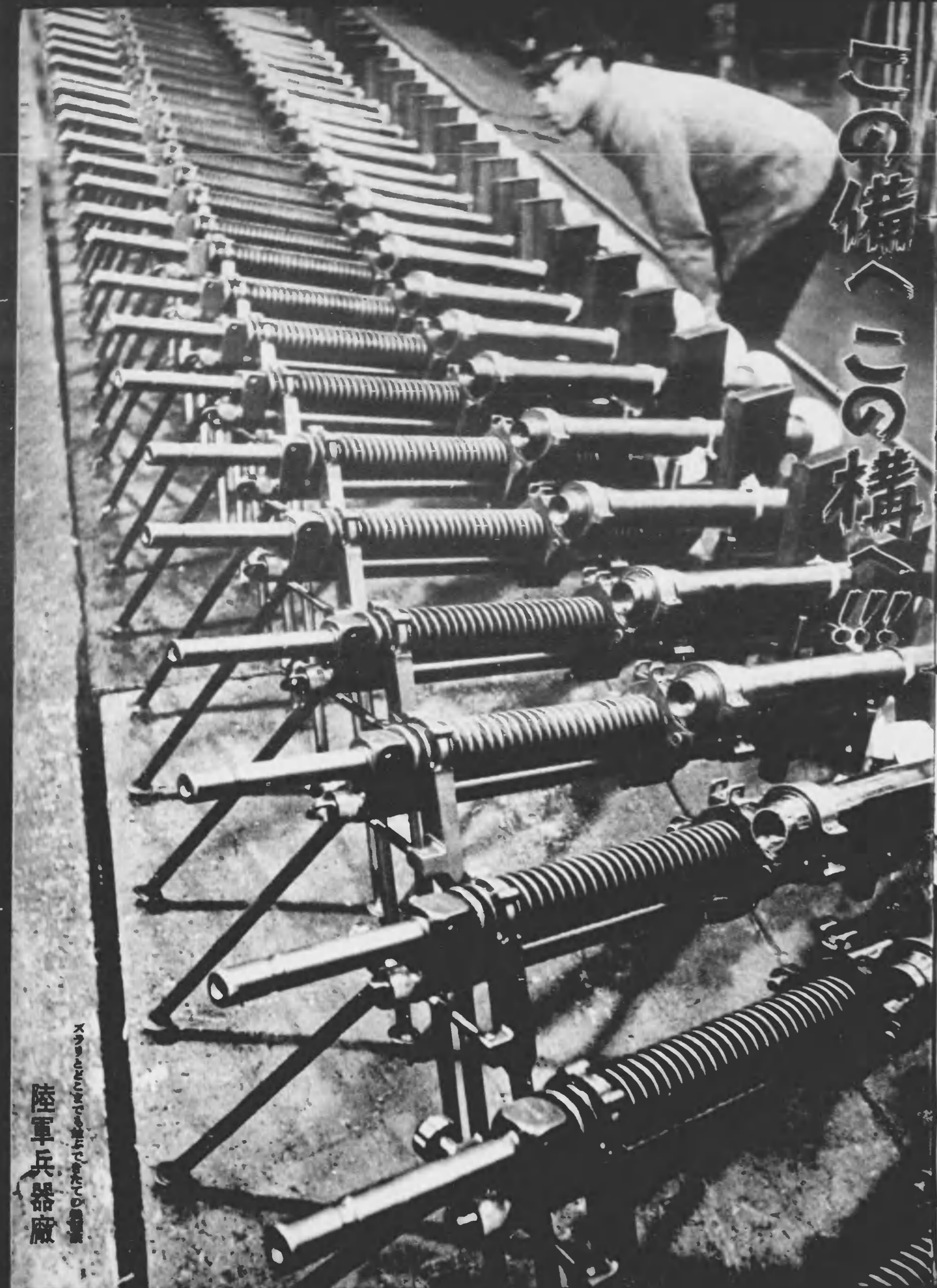
情報局編輯  
七月九日 第七百六十七號

昭和二十三年三月三日 第三號 昭和二十三年七月九日發行



支那事變四周年第二特輯





この備へこの構

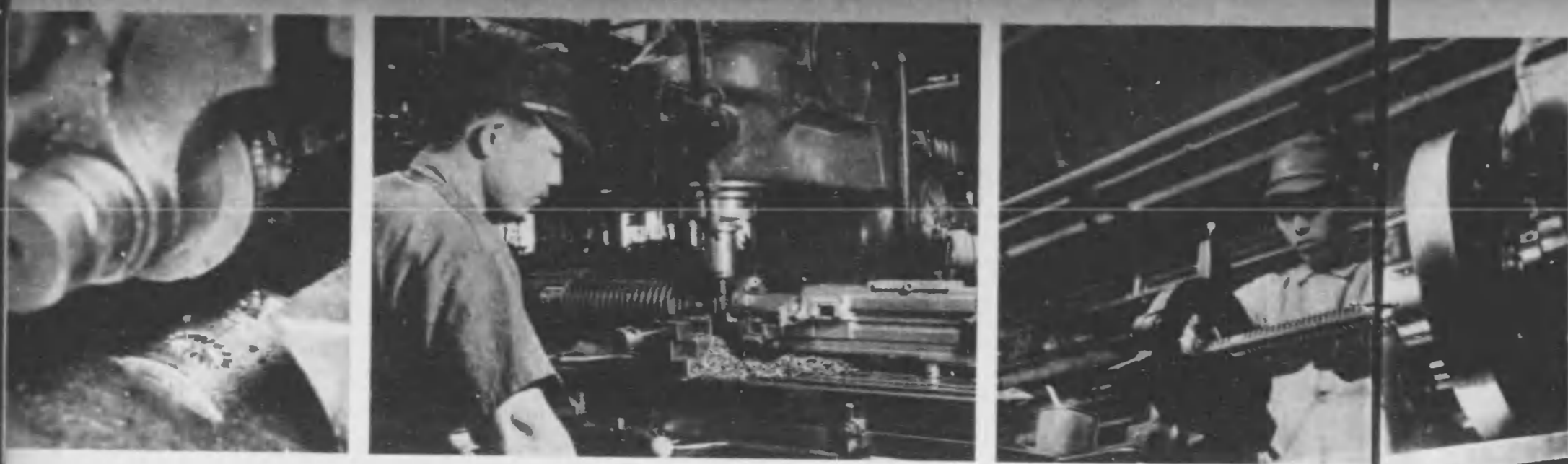
陸軍兵器廠



# 満洲事変十周年

に洲滿・地聖の血濺祖父  
よ看を姿の進躍設建

局總道鐵



この備への構へ!!!

↑ 相手は冷たい鋼だがそれがいつの間にか生命あるものゝやうに思へてくる

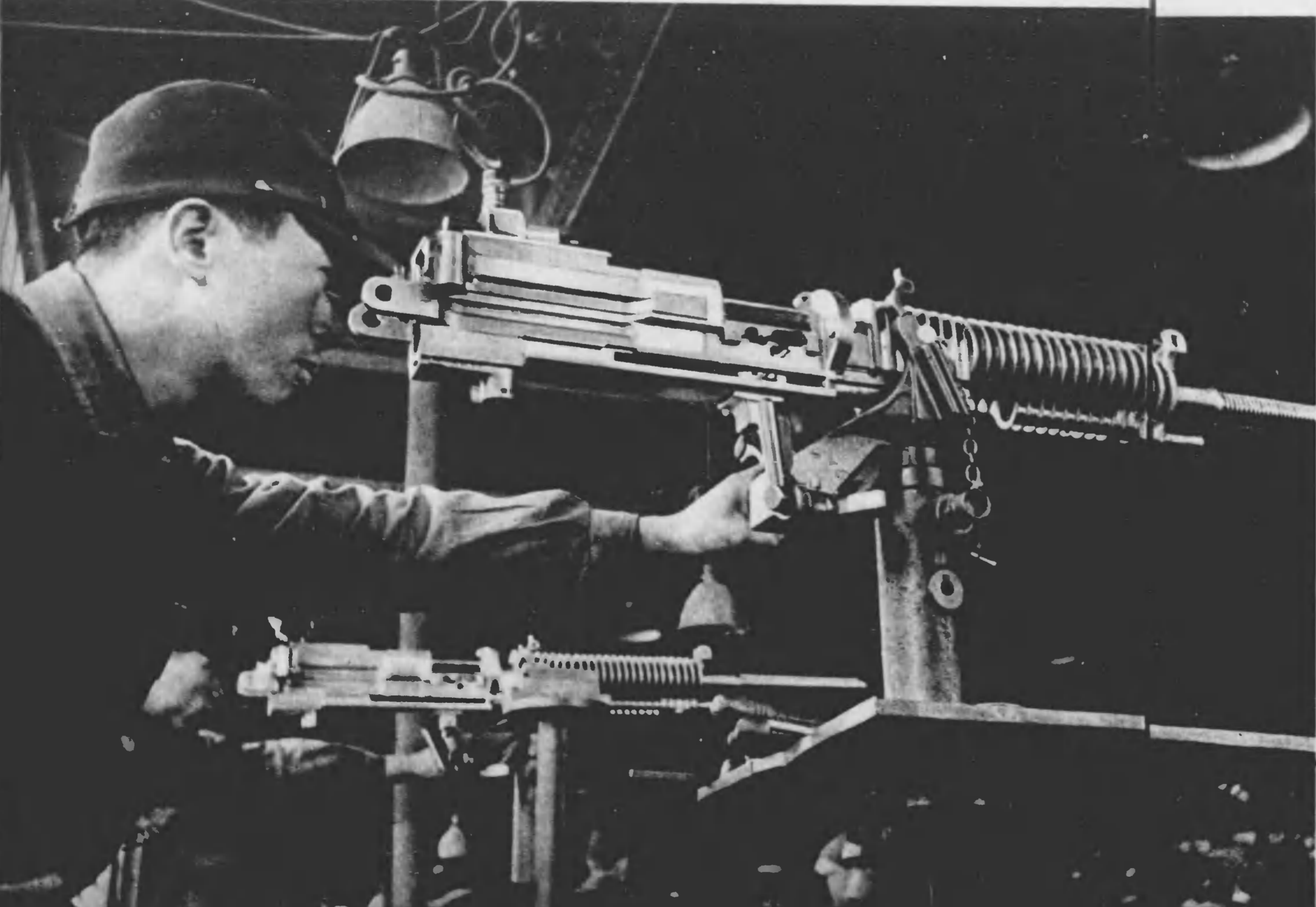
近代戦では優秀兵器の生産能力が大きく戦局を支配します。ドイツがこんどの新作戰に千萬人の動員を豪語できるのもこれだけ多数の兵士に立派な武装をさせるだけの兵器生産能力に十分の餘裕があるからであつて、強い兵士を持つことと竝んで優れた兵器生産能力をもつことは勝利に導く二大ルートといへませう

事變四周年を迎へた日本の銃後陣も優秀兵器の大量生産は列強に劣らぬ馬力をかけてゐますが、今事變に使用されてゐる兵器は全生産の約二割位でせうから力強い限りではありませんか  
しかしながらこの生産能力を今後いよゝ充實させてゆくにはわれわれ全國民の協力が必要なのは勿論ですが、直接生産陣をまもる戦士たちの熱にまつところが非常に大きいわけです  
兵器廠の若き戦士たちは銃一つにも血のにちむ眞剣さと熱意をもつて大事な仕事にあたつてゐます

↑ 放熱筒の旋送作業——實験で約けついたら大變だ、念の上にも手をいれて……

↑ 備たる菊花刺撃車の押送  
機関銃の検査、精密の上にも精密に

陸軍兵器廠



□ 嚴重な試験を通過した歩兵銃は大きな倉庫に整理されて出征を待つてゐる





「お前や、忘れものなかと、な、しつかりきてこないかんばい、エンピツやらなんやらちやーんとものとななるな」



「それもう一息、勝つた方がおまんじゆ三つよ」  
「真いらい聲援があがつてわーつとにきやか、下左」

あゝこの感激、歡呼の族の波、町長發聲の真珠のどよめき

# 青紙令集

— 仕奉役軍の團年 —

福岡縣下男女青年

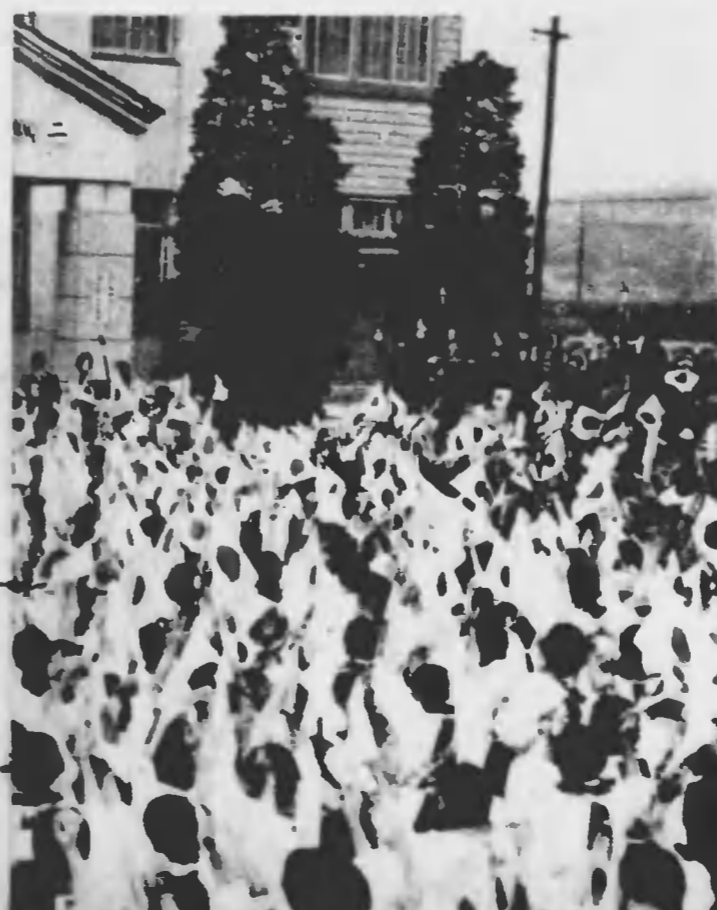


「時子さんさく、召集の來るとつちやが！」  
「何だすな、どけなことの、ふて來とりますとな」  
「青紙召集の來るとつちやが！」



立つてゐるとふーつと腫氣がまふたを重くする。その度、戦地の兄を心にかみしめる下右

その朝、境内には町長始め町民多数の出迎への中を應召の旗連は滅私奉公を胸にきざんで社前に向ふ



「今回軍役奉仕ノ爲非常勤員ヲ令ス依ツテ左記ニ依リ集合スベシ」  
應召日時、集合場所の記された青紙の召集令が縣下の男女青年に飛ばされる。令狀を手にした男女青年は出征兵士の場合と同じく町村民の盛大な見送りを後に勇躍應召、文字通り銃後戦線の第一線部隊として砲彈運びに火藥装填に青年の眞摯な熱情を傾けて眞剣な軍役奉仕がつづく支那事變勃發以來、福岡縣では縣下の男女青年の訓練と奉仕を目的として軍當局の了解協力の下に縣下各郡町村の男女青年を交代に動員、召集された銃後の若き戦士達は嚴格な軍律の内に集團生活を實踐、某地の陸軍兵器補給廠に十日間の軍役奉仕を行つて忠報國の赤誠をさしつけてゐる。



下關要港司令部檢閱所



1 今日からいよいよ軍校奉仕の生活が始まる。訓示の後、隊長自ら奉仕団を査閲する

2 この砲車が戦地に送られて、さう思ふと何くそと力が出て背すちを汗が流れる

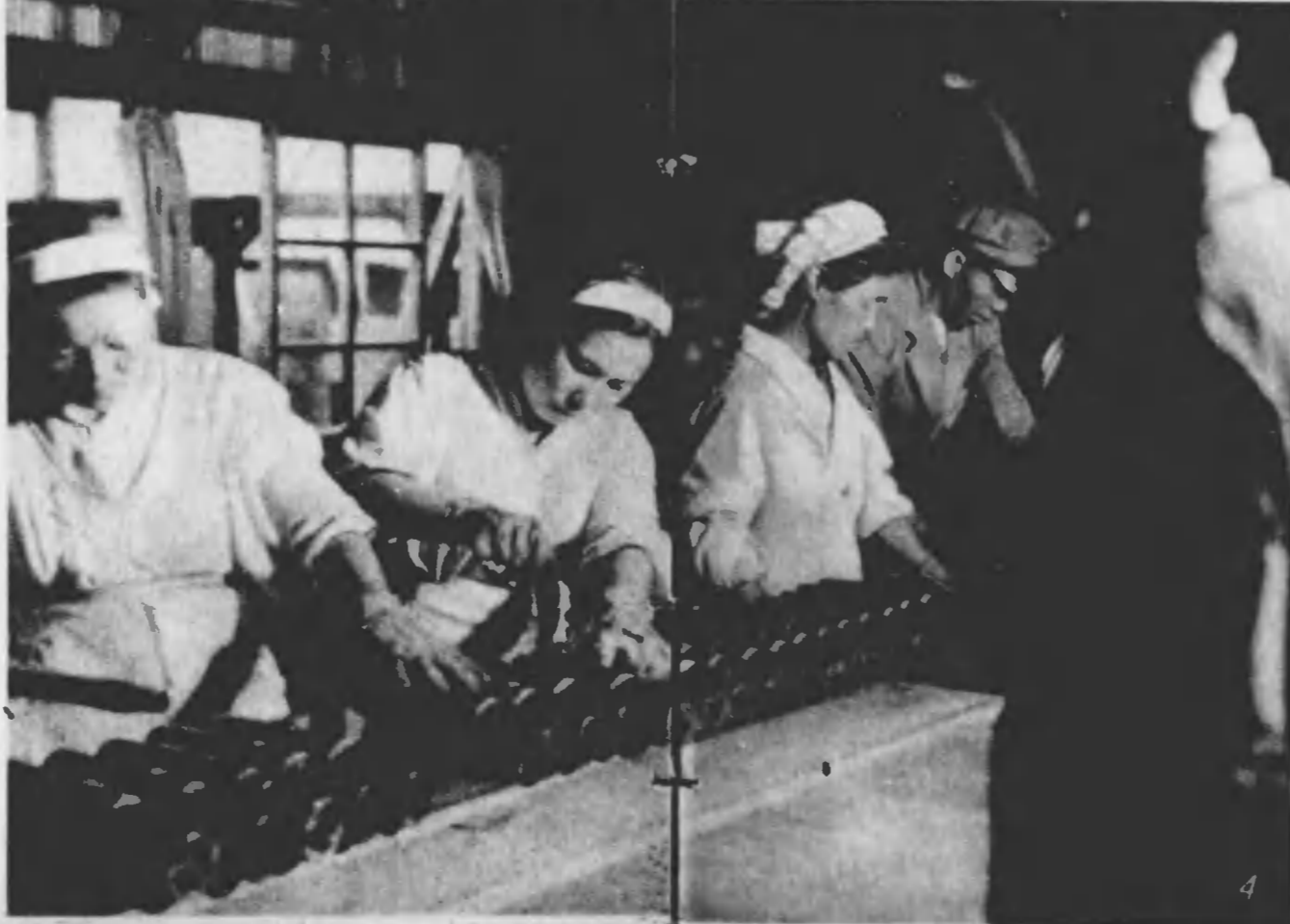
3 寒衣に火薬を分配するわらしの手は直後、日本の明日に輝いてゐる。こはいやうな、うれしきやうな緊張感がつ

4 砲彈の部分工作に鼻の頭に汗さへみせて一心不乱ニニューズ映畫の戦場がチラリとかすめて

5 よいしょよいしょ、氣をつけろよ、よいしょよいしょ、そろそろお重が戀しくなる

6 身も心も兵隊さんになつて今日一日の奉仕が終る。へんげんと願へる日家族の下を歩調をとつて隊伍並\*

下関要塞司令部検閲



# 源資の支北く吹を火

現在北支の石炭埋蔵量は、内地埋蔵量の約十倍、二千億トンといはれ、一方鐵礦は、今までの調査でわかつたものだけでも三億トンといふ莫大な数字を示してゐる。

北支の炭、鐵礦等は強力な軍の保護の下に、いはゆる産業兵團の不撓不屈の努力によつて開發が驚くべき早さで進められ、事變滿四年を迎へた昨今では、大東亞共榮圏にその不足資源を活潑に提供することが約束され、石佛で名高い大同の大同炭鐵(蒙藏地區、面積約十八萬町歩埋蔵量百二十億トン)など、今年度の出炭豫想は實に事變前の四倍といはれる。

北支隨一といはれる龍烟鐵礦(蒙藏地區、埋蔵量一億トンを突破)は、察南宣化縣、龍關縣等五縣にもわたる廣大な地域に横はつてゐる一大鐵床で、良質な赤鐵礦を埋蔵してゐる。現在最も積極的に開發されてゐるのは烟筒山鐵礦で約四千人の中國人職夫は大部分宿舍を與へられ、朝から働いてゐる。日産二千五百トンといふ有望さである。

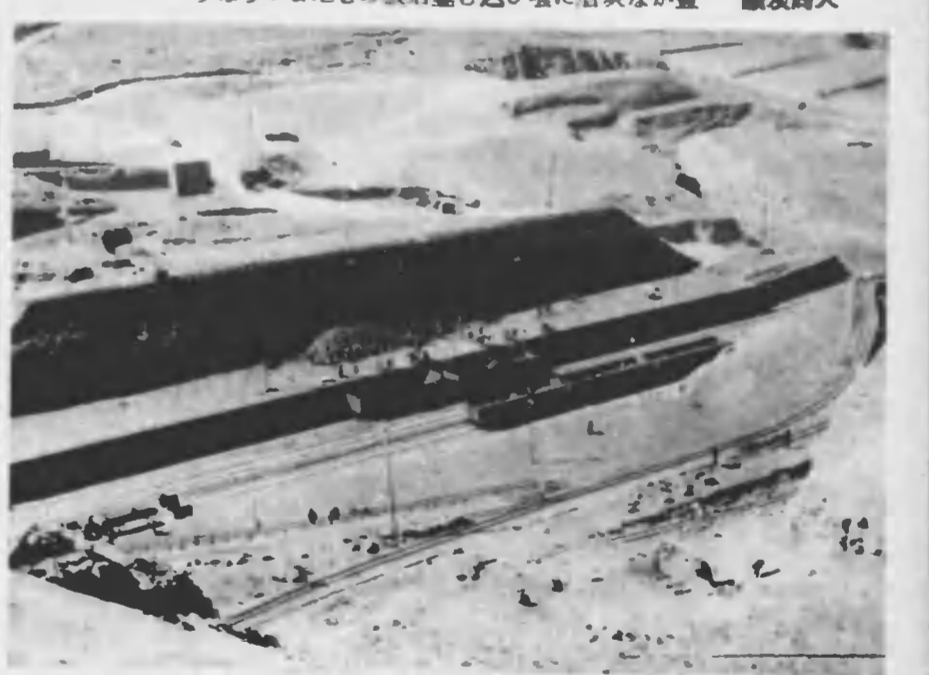
北支の製鐵所として囑望されてゐる山西省の中心地にある太原鐵廠は、閻錫山のいはゆる山西モンロー主義によつて設立されたものであるが、こんどの事變勃發當時すでに八分通り完成してゐたので、その復興にも大した費用や資材がいらず、しかも、製鐵に必要な石炭も豊富な上に、増産設備もこのほど完成したので、今後北支の鐵鐵増産は一段と強力化される筈。



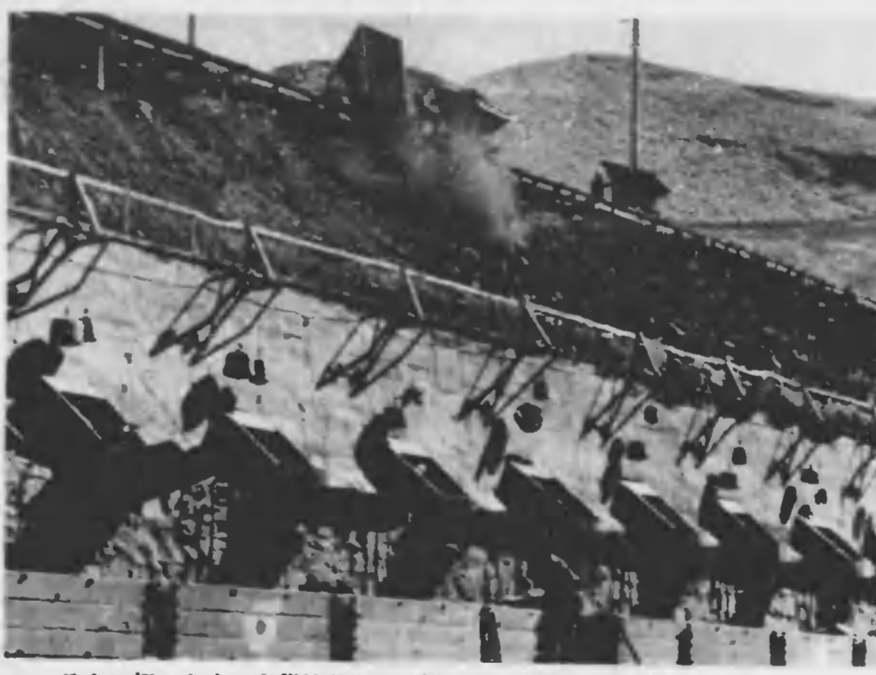
りなういよ地心の機岩堅む込ひ喰に附炭なか豊 鐵炭開大



炭石たれま積と山り限す波見



し出積の石鐵鐵 區錫山開開



るなに杯一ぐすも車貨積頓十ばせ崩を山の鐵鐵とツあさ



むこれ流に中の溝の砂が流奔の鐵たれさ熱灼とるれらけあが口の爐鐵煉 廠錫原太



山の鐵鉄てくなはで木枕の道鐵



## 動く世界情勢とわれらの覺悟

### 日華の誓ひ いよく固し

六月十七日、はるん、わが帝都を訪問された國民政府主席汪精衛先生は、その後東京市民の熱誠あふれる歡迎のうち、重大使命を果して二十五日、初夏の朝風爽やかな中を無事退京された。

汪先生の東京滞在は僅か一週間をこへたが、しかし先生はわれわれに大きなお土産を残して歸國された。その土産とは、先生の來訪によつて日華兩國の誓ひがますます固くなったといふことである。

先生は近衛首相と懇談を聞いて日華兩國の現在、將來について心ゆくまで相談された。その結果、六月二十三日二人連名の「共同聲明」が發表された。その中に「我等會談の結果日華兩國政府は共同目標に向つて一層ノ努力ヲ爲スヘキコトヲ誓ヒタリ」とあり、また國民政府は今後民衆をひきゐて、政治、軍事、經濟、文化の各方面に日華協力の實績を示してゆき、日本はこれに對し一層援助を與へて中國を東亞新秩序建設の一役者に仕立てるといふ意味のことが述べられてゐる。

かうして、昨年十一月末、日華基本條約が結ばれて以來、實々と進んできた新中國の建設が、今後更に一段と兩國心を合せての勇氣をこめて續けられてゆくわけである。われわれがこの希望多き兩國の再約束を胸にして、四度目の事

變紀念日を迎へたことは、まことに意義深いことといはねばならぬ。それは、日華兩國の誓ひがますます固くなったことである。六月二十四日のラジオ放送を聴かれた人は、その承知のことであらうが、近衛首相は汪精衛閣下を迎へて、題する放棄中、日本は汪先生を支持し、内外の不逞な挑撥者があれば斷乎排撃すると言ひ申され、汪先生は、日本國民の厚情、厚誼を胸に持つて歸つて全國民に傳へよう、中國の同胞は必ず深く感動し、諸君と手を携へて前進するであらうといふことを述べられた。

何といふ深い相互信頼であるか。われわれはもうこの上は何の迷ふこともない。新中國への援助を一層事實の上で示し、東亞新秩序の達成の巨歩をすすめる仕事は、われわれの熱情を待たぬばかりである。

### 歐洲の狀勢 またも急變

われわれが汪先生を迎へて、新東亞の明日を期待し、互に手をさし合はせて協力を誓つてゐる。六月二十二日の早朝、ドイツとイタリヤがソ連に對して宣戰を布告し、またも世界を驚かせた。そして早くもその日から獨逸の廣大な國境のこゝかしから獨逸軍は猛進の勢に進軍を開始した。しかも獨逸と歩調を合せたフィンランド、ルーマニア兩國も、行動を

開始。またハンガリーも、對ソ宣戰を布告して、こゝにヨーロッパの戰局は、新しい方向に向つて大風雲を巻き起すに至つた。朝に夕に變轉する情勢はヨーロッパの國々といはなげから、まことに目まぐるしい變りやうである。一時年八月不可侵條約を結び、その後まず、友好關係を深めるかに見えた獨逸兩國が、なげに急轉して砲火を交へねばならぬやうなつたのだらう。その真相は今しばらく時日の経過を待つよりはかたはな、ドイツ政府の発表によると、ソ連が表面上ドイツと提携すると思はれたが、一方、英國と提携してドイツを長期戦に巻きこもうと暗躍してゐたといふのである。その眞偽は現在のところともかくとして、結局はナチスのドイツと共産主義のソ連とは、共に相容れない水と油であつたのであり、早晩来るべきものがやつてきたとも見られるのである。

獨逸開戦の影響は、もつとも計り知れないほど甚大であらう。まづ、兩國の開戦に會心の光を漏らしたのは英米兩國であらう。ドイツの政府の勢力にその前途を暗くしてゐたイギリスは、これによつて少からず怒目を開き、ドイツに向つて戦ふ者はわれらの仲間であるとして、いち早くソ連援助を約束したといはれる。またアメリカも、これの對ソ政策を重て、協力的方針に轉ずる氣運が濃厚であるといふことである。

かくて獨逸の開戦により、ヨーロッパ戦争は文字通りの世界大戦へと展開し、その前途はまことに豫想し切れないほど複雑を極めることとなり、さてわれわれは、この不安定な世界情勢の中にあつていつたといふ態度で居なければならぬだらうか。

何の迷ひなし われらの態度

獨逸開戦の報とともに、ある一部の人の、

中には、三國條約はもうならぬだらう、中立條約はもうならぬだらうなど、まことにせつこかに氣を遣ふ人があつたであらう。いつた、これらの人たちは、その日常生活に獨逸開戦がどんな深い影響を持つてゐるといふのだらうか。世界は目まぐるしく動く。この動きに心をなやませるならぬ。決て國家官員の協力から生れる強き果しは結果は結ぶはずがなく、一家の再興などは及びもつかないであらう。

この簡單なことは、まづ、一國にも適用される。政府はすべての方面に廣く深く考慮をめぐらし、國策を決定してゐるが、われわれがこれを信じ、政府の施策に従つて行動し、以外に、偉大な國力の發揮されるわけがない。幾度もいはれるやうに、今や試練の時、思案の時である。たゞ實行あるのみといふのは、まさしくこの意味からである。

では政府の施策はどこに重點が置かれてゐるか。いままででもない、それは支那事變の定数にある。そしてそのためにこそ國防國家の建設がさし進んでゐるのである。われわれが食ひたいた食料を節約し、現れた衣類に甘んじ、家畜の金の貯蓄をゆるがせにしないのは、實にそのためである。

何よりも力が肝要である。國家の實力があれば何の恐れるものもない。獨逸の戰況がどうならうと、英米がどうしようと、力さへあれば物を言ふのである。

要するに、議論に及ぶ者が何人何人あつても、それは遂に一人の最後の上にも及ばない。年ごとに急激な事變紀念日の第四回目を迎へた今日、殊にこの感奮を深める。







見聞記 すぐれたよい交際の仕方

これから夏になって暑く... 元などの贈答... 元などの贈答... 元などの贈答...



戦地にもいれる兵隊の生活... 戦地にもいれる兵隊の生活... 戦地にもいれる兵隊の生活...

ちよつとの油 断てかさみ... 断てかさみ... 断てかさみ...

交際の錢二 縁のほがきを使... 縁のほがきを使... 縁のほがきを使...

客おね手 世間一般に男子は男... 世間一般に男子は男... 世間一般に男子は男...

召さるるよのこ 働いてくろび

こゝに掲載の手記は本誌ク... ラビヤ頁の「青紙召集令」に... ラビヤ頁の「青紙召集令」に...

便りがクッと減りました... 便りがクッと減りました... 便りがクッと減りました...

解されぬ。私たちはそれがくやし... 解されぬ。私たちはそれがくやし... 解されぬ。私たちはそれがくやし...

職場における生活 (イ) 職場の空気がよい。すべて... 職場の空気がよい。すべて... 職場の空気がよい。すべて...

宿舎における生活 (イ) 宿舎に宿舎の方の親切... 宿舎に宿舎の方の親切... 宿舎に宿舎の方の親切...

へは (ア) 形ばかりの「表理」通りの... 形ばかりの「表理」通りの... 形ばかりの「表理」通りの...

(三) 懇問小包の荷造りは丈... 夫にしませう... 夫にしませう... 夫にしませう...

小包の荷造り... 小包の荷造り... 小包の荷造り...

解されぬ。私たちはそれがくやし... 解されぬ。私たちはそれがくやし... 解されぬ。私たちはそれがくやし...

職場における生活 (イ) 職場の空気がよい。すべて... 職場の空気がよい。すべて... 職場の空気がよい。すべて...

宿舎における生活 (イ) 宿舎に宿舎の方の親切... 宿舎に宿舎の方の親切... 宿舎に宿舎の方の親切...

へは (ア) 形ばかりの「表理」通りの... 形ばかりの「表理」通りの... 形ばかりの「表理」通りの...

(三) 懇問小包の荷造りは丈... 夫にしませう... 夫にしませう... 夫にしませう...

小包の荷造り... 小包の荷造り... 小包の荷造り...





ゆつたりとわが家に落ちついた沈さんは留守を守つてゐた夫人に南洋の風俗風景などの貼つてあるアルバムをめくりながら家庭の空気を恍惚とする

「沈さんの主人が歸つてきた。夫人はその喜びを包みきれず親しいお友達を招待して楽しい食事を重む」

事變後初めて歸國した上流華僑の沈さんは調産品一つ缺けてゐない、その位置さへも出國のときと變つてゐない佛壇の前で祖先の靈に歸國の報告をした



何日君再來

歸つてきた華僑は先づ南洋へ出かけるときに渡航手帳をとつて買つた華僑招待所へ行き歸國した登録をすませる

埠頭に上がればなつかしい華僑専門の旅館、大南旅社は微笑んで「ようこそ」と歸國した華僑に呼びかける

歸る人、迎へる人、お、無事だったか。そこ、に交はす感激の言葉のなかに和平建國の気分は流れてゐる





新線建設の架橋工事。執拗な敵の遊撃と戦ひながら、驚異的な速度で新しく鐵道を延長してゆく。全く超人的とも思はれる努力である。

岩をくたき、路を切りひらいて鐵道建設の路盤工事が進められてゆく。良民尤もすんで難工事に建設の礎をよるつてゐる。

支那事變の最も輝かしい成果の一つは日本の指導の下に大陸交通の整備が著々と進んでゐることである。

事變勃發後間もなく、即坊、南苑などの戦場をへて京津地方が軍の手に陥ると、早速北支事務局が開設されて、占領地域の鐵道復舊が始まつた。その後内地からも多数の鐵道職員が派遣されてこれを助け、皇軍の占領地域が擴大するにつれて、その活動の範圍も全北支に及びやうになつた。

そして約一年半が経過し、事變が漸く長期建設の段階に入ると、交通事業の經營も恒久的な姿をとるやうになり昭和十四年四月には華北交通會社が設立され、全北支と蒙疆の交通事業は航空事業を除いてすべて同社がその運営にあたることになつた。

現在華北交通會社の營業路線をみると、創業以來二年余の僅かの間に急速に伸長し、鐵道五千九百キロ、自動車路一萬三千キロ、内河水運三千三百キロに及んでゐる。殊に鐵道は事變前の舊北支鐵道總營業キロの九十八パーセントを確保して、残るは臨海線の開封以西のみとなつた。

このやうに新支那大陸建設の基礎工事は著々と進み、北支に横たはる無盡蔵の重工業資源は開發の一途を辿つてゐるが、その際には幾多の尊い犠牲があつたことを忘れてはならない。事變勃發以來名譽の殉職を遂げた交通従業員は既に八百を超えてゐる。



大同と瀋陽を結ぶ同蒲線は今まで狹軌であつたのが、廣軌に改められた。同蒲線は東瀋陽などの七つの支線を含めて總キロ数は一千三百三十八キロに及んでゐる。

現場連絡に行くモーターカー。見事に切取られた黄土層が見える。事變後新たに建設された包頭、石拐子間を結ぶ大青山線にて。

北京近郊の豐臺と包頭を結ぶ京包線の復舊工事が完成した日、開通第一列車が、日華軍民協力の輝かしい成果を謳歌しつゝ飛進する。

撮影 華北交通株式會社



新教育

書院からの講義などイマイちよい。おい行かう、きつとあ  
るぜー。茶房の一隅にまのび丸をあつめると「ね  
え、ちよつといだらう」あゝ隔世の感ありー。ペン  
をシヤベルに持ちかへて陽光燦々、餘暇に多く勤勞奉仕



タンゴだ、ワルツだ、練だ、赤だ、體臭だ、そのダン  
スホールも次々に閉鎖されてどれもがそのまゝ國策會社  
へ...研究所へ...引越の日にホールの隅つこから忘れ  
られ光輝階級が片つぽ...自由主義末路の哀傷であつた



そのチカラが妙に魅力で、あまそれエなのびエが埃  
らねエー。ネオン並やかな浅草東宝街のはねね、鳥打帽  
の兄さんはかく中したのですが今はどうかとのぞいて見  
れば藤城海公の笑ひの部隊が健全無業のフタタシヨ



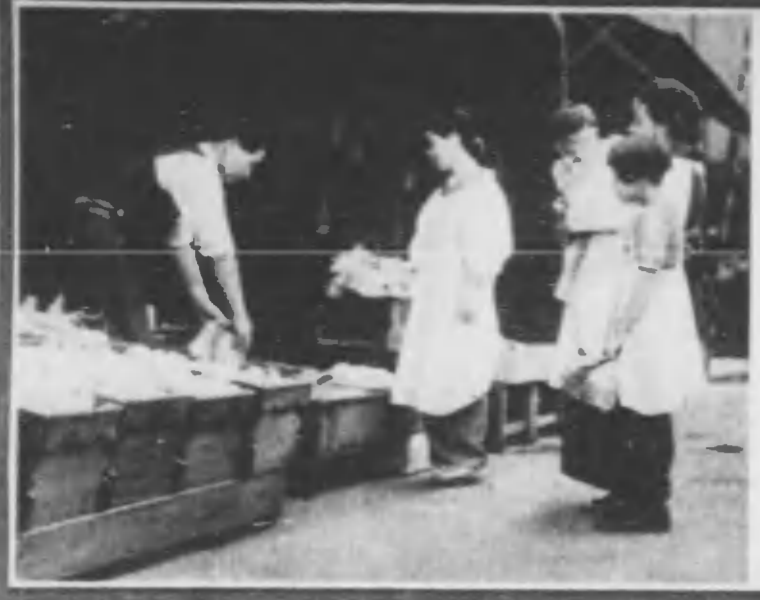
降ります！ 待つて下さいよ、降りるんですよ、降り  
降ろせたらア！ 聞かばこそ、脚虎の勢物やく入口  
に猛進殺到...はいつ頃だつたせう。なに？ 今も時  
々！ 御九歳でせう。皆さん、一列行列でお願しまアア



観望本貫



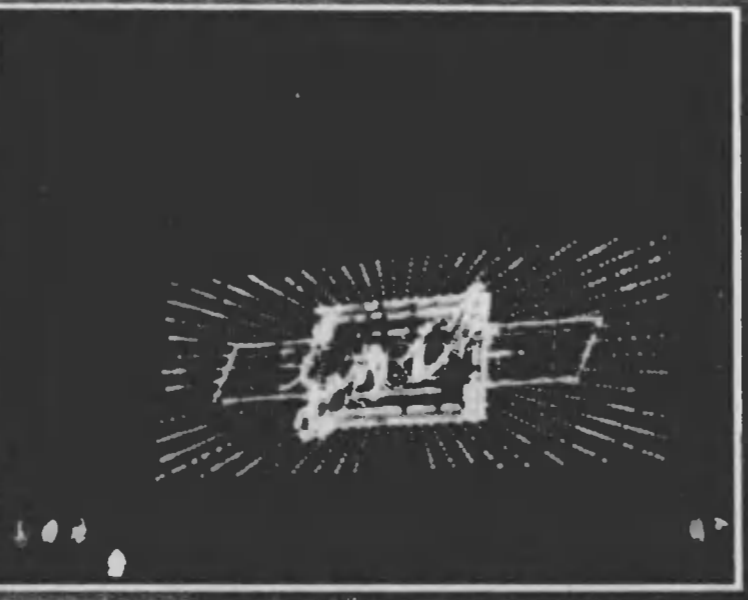
あらさうですの、これも出来なくなりすの、まア！  
らつかり餘にもキれませぬね。買物、買だめ、買ダ  
メ...その利己主義も大に喰はれて。富澤品製造禁止  
公定値販賣、切符制、事業は色々を教へて呉れます



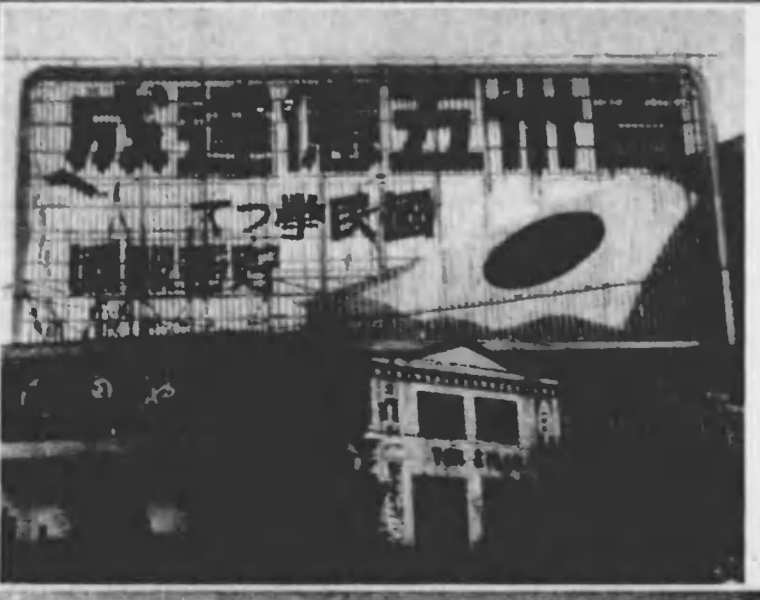
空地はつまりどみ海で、なアに難か何としますよ  
公徳心を失つたならさ！ それも今日の日本に  
はありませぬ。空地は深組で食糧増産に、古ベケツキ  
空留は金庫増産に、脚芥は豚の飼育にと全く無駄は無い



異質會住達の未だの恨歌...あゝこの變時！ 伊勢えび  
の味も食へない、別荘さんも見られない。結婚披露  
が協力會議に變つて出雲の神球も下消上進の取持、さう  
なると吾輩は何をすべきや、今考へさせられとんだが



CHVROLET...BUICK...派手なネオンが銀  
座の夜空に點滅してちよつと「ユーヨーター」などと  
1ダ水のグッパと一緒に女の子の口から飛出した歌も  
昔の夢...時移り人變り編んで見上げるは舞臺進軍時



果効合復の薬酵化消三とB・V性化同

# とまかわ錠劑

勤勞力

の確保

増産に總力すべき時——勤勞者の健康を確保し、頑張りのきく強靱な體力を培ふために、**とまかも**の服用が益々賞用されてをります。

過勞防止

**とまかも**とは濃厚なビタミンB複合體を始め、グルタミン酸、アミノ酸等、各種の營養素を豊富に含み、獨特の細胞賦活作用で胃腸機能を強化し、疲勞を速かに解消して、結核や脚氣、胃腸病を防ぎ、體營養を充實して、**明らかな勤勞生活を繼續させます。**

一日二十五日量 (地方により)  
 數錢一圓六十錢 (を備わめ)



東京・大阪・名古屋・京都・神戸・北九州・東京・東京  
 本舗とまかわ 東京・東京



脚で戦ふ今日も  
 十五里  
 南支 瀋陽部隊  
 上田俊一  
 征く者、戻る者、も  
 う何時間歩いたことか  
 前線に出動する部  
 隊に逢ふより御苦勞  
 本隊はもうすぐだ」馬  
 上から汗をかけられて  
 あ、たすかつたとはつ  
 とする、南支戦線の焼  
 けつくやうな暑さがり

野戦餐宴  
 中支 大貫部隊報道班  
 中支 有馬部隊 渡邊軍曹  
 久しぶりに兵站部から豚とおいでな  
 すつた「しめこのトンナキ」だらしなく  
 つばの出る待ちどろろしさよ  
 トン汁かア！ あートン汁かア！ すま  
 ねえな——と師團ならぬ胃の腑の底から  
 感激これ久しうす



## 復習室

本報からあなたは何を學んだ  
 てせうか？

- 1 華北政務委員会の行政區域になつてゐるのはどこですか？
- 2 次の各事件を年代順に並べかへてごらんさい。
- 3 石佛で名高い大同にも一つ有名なものは？ (8頁)
- 4 健康のつもりなのにツベルクリン反應の結果陽性と判定されました。結核でせうか？ (16頁)
- 5 北京まで電話をかけたのですが、やはり無線電話といふことになりませんか？ (10頁)
- 6 厦門、汕頭、澳門——何とよみますか？ (17頁)
- 7 北支に京包線といふのがありますが、どことどこを結ぶ鐵道ですか？ (21頁)
- 8 滿洲國にもわが國の赤十字社に似たものがありますか？ (16頁)
- 9 機關銃に螺旋狀の筒がついたのがありますが、何のためにですか？ (11頁)
- 10 華僑とは、將軍澳地の航空基地？ 造花など飾つた支那製？ 中國人の海外出張者？ 中國の大衆煙草？ ビルマ・ルートの特種？ (17頁)

一問十點としてあなたは何點でしたか？

所 込 申	價 定
一部	十 錢
▲兼郵配送希望の方は一部十錢(外國郵便に依り地域は十九錢)の割合を以て前金を添へ御申込み下さい。	
▲特大號の場合は其の郵便物納込金より差額を申受けます。	
内閣印刷局發行課 電話九ノ内(23)三五一九 振替東京一九〇〇〇	
全国各地官報販賣所 各書店・購賣店 各新聞販賣店 寫真材料店	

寫眞週報(兼購載)  
 昭和十六年七月九日印刷發行  
 東京市町區  
 九ノ内三ノ二  
 内閣印刷局  
 東京市町區大學町

表紙  
 ガーランドと火をはく眼二つ。機關銃の完成ももう一息といふところだ。久しぶりに敵機と火花を散らし光りからるの便りに「機關銃をいはずして」とあつたことを思ひ出す。——兄さん、その機關銃から俺たち工員達の魂が、日本國民のあふれる熱誠が爆發するんですよ——さう書いてやらうと思ふ。若い工員は大膽の空の兄を思ふ。

あなたの

一圓  
で  
債券を

国民貯蓄に協力致しませう

特別報國債券

(一枚一圓の豆債券)が賣出されます

この債券は

- 1 僅か二年で還へされます
- 2 一等割増金は五百圓であります
- 3 割増金と一様に元金も還へされます
- 4 報國債券又は貯蓄債券と引換へることが出来ます
- 5 無料保管の取扱は致しません
- 6 税金は一切かかりません
- 7 賣出場所  
日本郵政銀行本支店出張所・郵便局・主なる銀行・  
證券業者・煙草小賣店

一枚一圓  
七月十五日迄